

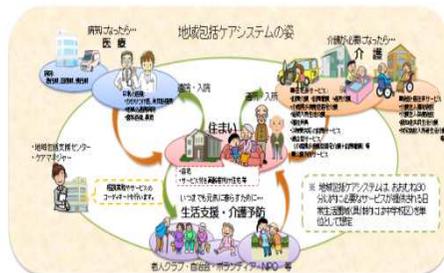
## 現行計画の現状(取組状況)と課題

計画期間：H30～R2

### 《基本目標》

「一人ひとりの尊厳と自立が得られ、活力に満ちた安心と喜びのひろがる長寿社会の実現」

～団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年を見据え、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保され、高齢者もその家族も安心して暮らせる社会（地域包括ケアシステム）を実現（深化・推進）する。



### 《現状(取組状況)》

取組項目	R2目標	直近	達成率
自立支援型地域ケア会議の開催回数	400回	313回	78.3%
住民主体の通いの場の創出数	550ヶ所	774ヶ所	達成
住民主体の見守り・生活支援拠点数	100ヶ所	84ヶ所	84.0%
ケアプラン点検の実施保険者数	35保険者	27保険者	77.1%

### 《課題》

高齢者数がピークとなる2025年に向けて、地域包括ケアシステムの深化・推進による整備が着実に進んでいる取組みについては、効果的に機能させる必要があり、進捗が遅れている取組みについては、引き続き継続していく必要がある。

- ・高齢者の自立支援・介護予防（重度化防止）の推進
- ・高齢者に対する生活支援等活動拠点の充実
- ・増加が見込まれる認知症の人とその家族への対応
- ・在宅医療と介護の連携強化
- ・在宅療養生活を支える居宅介護サービスの充実
- ・自宅以外であっても地域で暮らし続けるための住まいの確保
- ・介護職員等の人材確保及び資質向上
- ・高齢者施設・事業所の災害対策と感染症対策
- ・適正な介護保険サービスの提供
- ・介護を行う家族への支援（介護離職ゼロ）や虐待防止対策の充実
- ・高齢者が住みやすいまちづくりの推進

## 第4次山形県総合発展計画

### 長期構想

- 基本目標：人と自然がいいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形
- 政策の柱4：県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
- 政策3 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現
  - ・高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要な医療・介護等のサービス基盤とともに、あらゆる世代の個人・世帯が抱える多様な福祉ニーズに応え得る、包括的な支援体制を構築していく。

### 短期アクションプラン

- ◆テーマ2：いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築
- 施策2 高齢者もその家族も安心して暮らせる社会の実現
  - 高齢者の社会参画や就業などを支援するとともに、地域住民の見守り活動など、地域支え合いの活動を推進し、高齢者が地域でいきいきと生活できる環境を整備する。
  - 住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的かつ総合的に提供できる拠点整備の促進など、地域包括ケアシステムを構築する。

## 次期やまがた長寿安心プラン(案)

計画期間：R3～R5

### 《基本目標》

来年度以降の方向性を見据えて検討中

### 《目標達成にむけた施策の柱(項目)》

- 1 介護予防・生活支援・社会参加の推進
- 2 認知症施策の推進
- 3 在宅医療と介護連携の推進
- 4 居宅介護サービスの充実・強化
- 5 高齢者施設整備の推進及び高齢者の住まいの確保等
- 6 質の高い人材の確保と業務の効率化に向けた取組みの推進
- 7 施設・事業所の災害・感染症対策に係る体制整備の推進
- 8 適正な介護保険サービスの提供体制の充実
- 9 高齢者とその家族のいのち、くらしを守る取組みの推進
- 10 超高齢社会に対応するまちづくりの推進